

人文学部 3 年生 120 名が参加 マイナビ就職 MEGA EXPO

東京ビックサイトで3月8日に開催された就職説明会「マイナビ就職 MEGA EXPO」へ、人文学部から約120名の学生が参加した。



人文学部後援会などの支援で用意された4台のバスは、入場開始の約1

時間前に会場へ到着。学生は、緊張した様子ながらも、予め確認していた企業のブースを中心に、積極的な情報収集を行った。



引率を担当した教員（井澤・寺地）は、大学担当者向けのプログラムに参加した。

▽攻略法は「中堅中小企業から大企業へ」

今年の就職活動から企業の採用広報開始などのスケジュールが後ろ倒しになったことは、周知の通りである。それにより、どのような順序で学生が志望する企業にアプローチするのがよいかという点が、大きく変化している。



「大手企業の選考を受けつつ、徐々に中堅中小企業にも視野を広げる」の従来形から、「先に中堅中小企業の選考を受け、後から大手企業の選考を受ける」新しい形を想定することが大事だと、大学担当者向けのプログラムで説明があった。

以上の変化に伴い、選考のタイミングの多様化や活動期間の長期化が予



想され、①行動目標（時期、アプローチ企業数など）をより具体的に設定する、②学生自身が自分の選考基準や優先順位をきちんと書き出して早めに自覚することが必要—との指摘もあった。

▽ES は具体的に

エントリーシートの書き方に関するアドバイスもあった。重要なのは、例えば以下の点である。

- ・採用者の立場に立って作文する。企業にとって周知のことを延々と書く、身内だけしか通用しない内容なのに説明が十分でない、といったことは避けるべき。
- ・話を具体的にする。データ（数値など）を適宜提示する。



関心のある学生は、引率を担当した教員や就職活動担当の教員から、ぜひ直接情報を得てほしい。

会場では、バスが水戸へ帰る午後 5 時直前まで熱心に情報収集していた学生も少なくなく、その反動もあってか、復路の車中は非常に静かだった。

これから本格化する就職活動に向けて、学生は一定の手ごたえを得ているような印象だった。

（人文学部教員：寺地幹人）

